

石川県能登半島地震復興支援ボランティア

～ちっぽけな僕にできること～

・活動の背景

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震（マグニチュード7.6、最大震度7）が発生し、石川県輪島市や志賀町で最大震度7を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から九州地方にかけて震度6強等を観測するなど、非常に広範囲で揺れを観測した（総務省消防庁「令和6年能登半島地震における消防庁の対応について」参照）。

輪島市の支援に貢献したいと考えた理由は、インターネットに掲載されている情報の多くが輪島市について記載していることから被害が大きく人々の印象に強く残っていると考えられるうえ、復興の進みづらい地域の一つであると考えたからである。現地での活動を通して学んだこと、さらにはゼミ独自の考えについて発表を通して共有することで多くの人にボランティアや災害への興味を持ってもらおうと考えた。

・目的

甚大な被害を受けた輪島市の景観を再建して元の活気を取り戻すため災害支援に貢献し、有識者に話を伺う。それにより新たに得た知識や情報を踏まえ、減災や防災について最善策を考える。

・活動内容

1、活動期間/2024年8月8日（木）～2024年8月11日（日）

当活動ではNPO法人紡ぎ組にボランティアの場を設けていただき、草刈りやボランティアの拠点づくりを行った。また、自分たちに出来ることはないかと考え近隣住民に自ら声をかけ半壊した家屋の瓦礫撤去を行った。

2、本学のコミュニティーアワー報告会にて現地での活動や学び考えたことを報告した。また、東洋大学で作成したポスターをもとに活動について発表させていただいた。



・成果

私達が行った草刈りによってのちに開催されたお祭りが無事開催され、歌手の松平健氏が訪れ24時間テレビで放送された。また、瓦礫の撤去を行った住民の方からは感謝の手紙をいただいた。そして私たちの活動を受け継ぐ次のゼミ生はボランティアに興味を持ってもらった結果、リーダーとなって積極的に取り組みたいという学生も非常に多かった。

・おわりに

私たちは一人では本当に非力でちっぽけです。しかし、ボランティアを通して協力すれば誰かの笑顔を作ることが出来るのだと学ぶことが出来ました。